

報 告

四月份会

去る4月25日、教庁4階講堂に於いて「四月份会」を開催。出席は41教区、119直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・大阪 4月28日 教務支庁 23名
秋岡副委員長出向
・愛知 4月30日 教務支庁 34名
葛西委員出向

【直属学生層育成者講習会】

・河原町 4月14日 大教会 75名
秋岡副委員長出向
・朝倉 4月15日 大教会 300名
秋岡副委員長出向
・南阿 4月19日 詰所 100名
福江副委員長出向
・櫻井 4月24日 大教会 200名
茶谷委員出向

人事

《立教181年4月25日付》

【教区学生担当委員長辞令交付】

・谷 一喜（滋賀）
・宮里真由美（沖縄）

業務記録

《立教181年4月16日～5月15日》

4月18日 まなびばチーム会議
20日 事務局連絡会
【Happist】納品
23日 【Happist】発送
25日 委員会
例会
広報室会議
出版部部会
26日 第14期学生担当委員会
全体研修会（～27日）
5月4日 第55期天理教学生会委員総会（～6日）

6日 出版部部会
学修部部会
7日 委員会
ビデオチーム会議
担当者活動部部会
8日 委員会
学修高校の部研究室会議
勉強会チーム会議

T&M

<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

》》》GAKUSEI TANTOSHAHO

学生担当者報 Vol.376

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511（内線5817）（直通）0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
[E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教181年
平成30年5月25日発行

一人でも多くの高校生をおぢば、学修へ



真夏のおぢば、
と言えば、「こ
どもおぢばがえ
り」、そして、

「学生生徒修養
会 高校の部」。毎年、照りつける日
差しの中、全国各地から帰り集った生
徒、青色のポロシャツを着た係員が、
こどもおぢばがえりのあとの物寂しい
雰囲気明るくしてくれる。

昨年、二年生男子寮で副寮長を務め、
寝食を共にしながら、身近に生徒のお
世話取りにあたった。受け入れにあた
る係員は、同じ宿舎、班に引き合わせ
ていただいた生徒に、いんねんを感じな
がら、どう御教えを伝えようか、喜ん
で帰ってもらおうかと、自らの信仰を
練りつつ世話取りにあたる。初日は緊
張の面持ちの生徒も日毎に打ちとけ、
そんな係員に見守られ、おぢばのぬく
もりを胸いっぱい湛え帰途につく。
親神様は、生徒、係員一人一人に相応
しい出会いをくださり、教祖もきつと
お喜びに違いないと、お道ならでは、
おぢばならではの光景に感動を覚える。

彼も同じように夏のおぢばを過ごし
たんだらうなあと心に浮かぶのは、以
前学修に参加した一人の男子高校生。

教祖百三十年祭の三年千日一年目の
暮れ、私の所属する教会に繋がる一人
のご婦人が数年ぶりに中席を運ばれた
とき、思い切つて息子さんをお誘いし
たのがきっかけだった。おぢばで生活
したことがない彼は、初めは緊張と不
安を口にしていたが、最後は、友達も
でき、「とても良かった！」と喜んで
地元に戻って行った。

その後進学したが、中途退学し、学
修でもらったという修養科のチラシを
偶然見つけて志願してきた。

詰所でお世話取りする中で彼は、学
修に誘われた時、実は学校で辛い思い
をしていたと涙ながらに告白し、「高
校生の時も、学校を辞めた時も、何か
あるたびにおぢばに引き寄せられて、
たすけてもらっているように感じる」
と話してくれた。彼のその言葉に、お
ぢばでお仕込みいただく尊さ、親神様
によって導かれたのだという思いを強
くするとともに、時を逃さず声をか

学生部 委員

飯降 好助

けることの大切さを改めて思った。

声をかけ、足を運びながらも、それ
がなかなか実を結ばないことも多いが、
真柱様はある年の学生担当者大会で、
「それぞれの道すがらの中には、おそ
らく良いことばかりでなく、努力を重
ねていても目に見えて実らず、心勇め
ない日々もあっただろうと思うのであ
ります。（中略）その代その代におけ
る境遇はどうであっても、神一条の心
遣いで通ることを心に定め伏せ込む実
は、必ず次の代へ受け継がれるのであ
ります。」とお話くださった。この
お言葉を励みに、彼との関係は今も続
いている。

本年、学生担当委員会は発足四十周
年を迎える。この節目にあたり、学修
への参加者増員に一層力を入れようと
申し合わせている。先を楽しみに神一
条の心遣いで日々伏せ込み、自らの成
人に励みつつ、声かけ、世話取りに努
めさせていただきたい。
夏のおぢば、学修に、一人でも多く
の高校生を送り出してくださいませよ
う、どうぞよろしく願ひいたします。

立教181年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

第五十五期 天理教学生会活動方針

「ありがとう」の心を胸に、

ご恩報じの姿で通ろう！

一、生かされていることに感謝しよう

○「かしの・かりもの」の教理を学ぼう

○おつとめ、ひのきしんの実践

一、お道の素晴らしさを伝えよう

○仲間へ声をかけ、心をつなげよう

一、進んで教会につながるろう

○道の学生教会につながるDAYの推進

○青年会・婦人会につながるろう

「ありがとう」の心を胸に、
ご恩報じの姿で通ろう！

私たちが日々活動できるのは、親神様の絶え間ないご守護があり、教祖のお教えがあるからです。また、全国にいる仲間の存在や、教会につながる沢山の方々のお陰であることを忘れてはいけません。その存在に「ありがとう」の心を大切にし、ご恩報じの姿で通らせていただきます。

その為に道の学生成人目標を日々実践していきます。成人目標を実践することで、親神様のご守護に対して「ありがとう」の心が育まれます。そして、その心を仲間へ伝えることでつながりが深まり、一手一つに成人していくことができます。その姿こそ親神様のお喜びくださるご恩報じの姿です。また、「立教百八十一年 春の学生おぢばがえり」の式典において真柱様は、「教会の人にあいさつを交わしたり、自分にできるひのきしんをする機会をつくり、教会を身近な存在にしてほしい。」とお話しされました。学生会活動を通して少しでもお道の魅力にふれ、仲間と共に教会に足を運びましょう。そして、五十五期を通る仲間と共に陽気ぐらしを目指して、次代を担うよう、よくへと成人していきます。

一、生かされていることに感謝しよう
教祖の教えを学び親神様のご守護に「ありがとう」の心を育み、お礼申し上げます。そして、その心を姿で現すことや仲間言葉で伝えることで親神様に喜んでいただきます。

○「かしの・かりもの」の教理を学ぼう
この教えを学ぶことで、生かされていることや、身の回りにあるものは親神様からお与え下さっているものであると気づき、「ありがとう」の心を育むことができます。学ぶ方法としては、教理勉強、談じ合い、先生からのご講話など様々あります。それぞれの現状に合わせて学ぶ方法を考え、心に治め、親神様がお喜びくださる心の遣い方を実践しましょう。

○おつとめ、ひのきしんの実践
毎日を元気に過ごせることや、学生会活動ができることに、おつとめでお礼を申し上げます。またその心をひのきしんで表しましょう。仲間と共に、おつとめ、ひのきしんをすることで共に成人させていただきます。

一、お道の素晴らしさを伝えよう

身近な仲間に学生会へつながってもらえるよう声をかけを行っていくと同時に、自分の心を入れ替え、その姿を通してお道を伝えていく事が大切です。周りには自分にかたすけることのできない仲間がいるはず。まずは、一人でも多くの仲間に学生会につながるってもらえるよう、各学生会の活動一つひとつ、また全国の仲間と共に開催する行事への声をかけを行っていきましょう。

○仲間へ声をかけ、心をつなげよう

日々の声かけや姿を通して、仲間へ心をつなげましょう。そして、春の学生おぢばがえりに一人でも多くの仲間と共に、おぢばに帰り集いましょう。おぢばは親神様、教祖が私たちの帰りを心待ちにして下さっています。また、人のたすかりを願う場所だからこそ、お道の魅力に沢山ふれることができます。仲間をお道につながる一歩として挨拶や心配りなど小さなことから実践していきます。

一、進んで教会につながるろう

教会とはたすけの道場と呼ばれ、教会を通しておぢばへたすけを願う場所です。教会につながるということは、親神様、教祖

○道の学生教会につながるDAYの推進
進んで教会につながることを実践する上から、「道の学生教会につながるDAY」を推進します。私たちには必ず所属する教会があり、国々所々には教会があります。教会に参拝し、教会の方々につながることで学生から教会を賑やかにしていきます。

○青年会・婦人会につながるろう

私たちは青年会員、婦人会員でもあります。天理教青年会が創立百周年に向かって大きく歩みを進め、女子青年大会も来年開催される人材育成のこの旬に、「創立百周年記念第九十四回天理教青年会総会」「第二十九回女子青年大会」に一人でも多くの仲間へ声をかけ、参加しましょう。学生を終えてからもお道にしっかりつながり、次代を担うよう、よくへと成人していきます。今できる一歩として青年会、婦人会にもつながっていきます。

「まなびば」開催会場一覧 《6月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
奈良	6月2日13時30分～3日15時	敷島詰所	梅本	
群馬	6月9日15時～10日16時	教務支庁	番場	
愛知	6月9日8時45分～10日18時	東愛詰所	速水	
山口	6月9日13時～10日14時30分	下関市豊田湖畔公園キャンプ場	益田	
広島※	6月16日13時～17日15時	サギ・セミナー・センター	片岡	
千葉	6月23日13時～24日14時45分	教務支庁	三橋	

※16日三原港11時37分発 → 鷺港11時50分着。

17日15時離島。

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

青空

学生会活動にほとんど参加したことがなく、どんな部署かもわからないまま始まった学生担当委員会での勤務。初日、先輩局員に事務局や学担のご用について教えていただき、自分に務まるのかと不安になったことを覚えています。

出版部へ配属され、『Happist』編集のご用を頂きました。高校時代に読んでいたので、その編集に携われることが信じられなくて、出来上がった『Happist』を手にするたびに感動していました。しかし、楽しいことではなく、取材や編集などでいろいろ失敗し、辛い思いをしたり、させてしまったり、読者だった時には想像もつかない苦労や経験をしました。挫折しそうな時、「最後までしつかり通ったら、心に筋肉つくで！」と吉川前委員長に言われた言葉を思い出し、さらに、取材で関わる学生の素直でまっすぐな姿を見て、自分の心の向きを直し、今日まで勤めることができました。

まだ先になりますが、『Happist 十月号』の編集を以って、ここでのご用を終えさせていただきます。至らないことばかりの私を三年半も置いてくださり、また、お育てくださった学生担当委員会に心から感謝します。残りの日々もできることを精一杯務めていきたいと思っています。

出版部局員 黒澤あやの

第五十五期 天理教学生会委員総会 開催報告

五月四日から六日にかけて、第二母屋を主な会場に、第五十五期天理教学生会委員総会を開催し、学生百三十五名（教区二十団体五十名、直属二十三団体四十名、スタッフ四十五名）が参加しました。初日は、春の学生おちばがえり式典での真柱様のお言葉を振り返り、学生に望まれるを、やの思いを確認し、改めて『道の学生成人目標』に焦点を当てて学生生活に取り組む大切さを学びました。その上で、第五十五期天理教学生会 丸川陽一郎委員長より、真柱様のお心に少しでも成人した姿をもってお応えさせていたきたいと、今期の活動方針についての思いを聞きました。

明けて二日目は、学生担当委員会 松村孝吉委員長より「信仰の喜び」について

て、ご自身の体験談をもとに、お道にながって信仰させていただけることの喜びを、分かりやすくお話ししてくださいました。その後、九月十七日に実施する「道の学生ひのきしんDAY」、また「道の学生会につながるDAY」の意義を再度確認し合い、信仰の喜びを大勢の仲間を誘い合って形に表していこうと誓い合いました。

そしていよいよ最終日を迎え、活動方針の質疑応答、議決が行われました。各教区・直属学生会より真つすぐな意見、質問が飛び交い、丸川委員長は「今期活動方針のキーワードとなる「ありがとう」の心を大切に、親神様、教祖、教会につながる方々、そして全国にいる仲間の存在に感謝し、『道の学生成人目標』を日々

実践することがご恩報じになる」、さらには式典での真柱様のお言葉から「教会を身近な存在にしてほしい」という話に触れ、次代を担うよう、よくとして学生の間から教会につながっていく機会を増やそうと今期の意気込みを述べ、活動方針は可決となり委員総会は無事終了しました。



【教区】											
・岩手	・神奈川	・石川	・東京	・福岡	・奈良	・岐阜	【直属】	・阪東	・本明	・津軽	・東京
・香川	・東京	・津軽	・本明	・阪東	・岐阜	・奈良	・福岡	・東京	・石川	・神奈川	・岩手
6月21日11時30分	6月20日12時	6月20日12時	6月3日12時	6月3日12時20分	6月29日17時	6月29日11時	6月4日11時	6月3日16時	6月2日13時30分	6月2日11時	6月2日10時
大教会	分教会	大教会	分教会	大教会	教務支庁	教務支庁	教務支庁	教務支庁	教務支庁	教務支庁	教務支庁
【教区】											
・繁藤	・西海	・飾東	・御津	・日野	・新潟	・北洋	・芦津	・城法	・西宮	・池田	・蒲生
・中野	・岡	・名古屋	・東海	・山國	・秋津	・湖東	・明和	・八木	・高知	・平安	・香川
6月21日11時30分	6月21日17時30分	6月22日12時	6月22日12時	6月22日10時	6月22日12時	6月22日12時	6月22日12時	6月23日12時15分	6月23日11時30分	6月23日11時30分	6月23日11時30分
大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会

Happist7月号 予告

[PICK UP!]

餃子食べちゃいな!

連載

- ・教理コーナー
おやじの小言!? 山中 修 (大典分教会長)
- ・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 森井 葉子 (名古屋大教会長夫人)
- ・発見がある 心が踊る
私立はっぴす学園 渡辺 一平
- ・マンガ
ココロtravel ニシカワヨウコ



個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

立教181年 こどもおぢばがえり 学生ひのきしん隊

陽光やわらかくふりそそぎ、こどもおぢばがえりの季節が近づいてきました。さて、本年も7月25日から8月5日まで、こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊を結成します。学生ひのきしん隊では、全国各地からおぢばへ帰ってくる子どもたちの受け入れひのきしんをさせていただきます。子どもたちに少しでも喜んでもらえるように勤めさせていただきますので、一人でも多くの学生に呼びかけをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

＜ 募 集 要 項 ＞

目 的	ぢばへの伏せこみ
内 容	わかぎおぢばひのきしんカウンセラー、廻廊ひのきしん受け入れなど
対 象	高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生
期 間	A期間 7月25日（水）～7月31日（火） B期間 7月27日（金）～7月30日（月） C期間 7月30日（月）～8月5日（日）
受付時間	A・B・C期間とも13時（予定）
解散時間	A期間 11時 B期間 17時 C期間 13時
募集定員	A・C期間 各70名 B期間 50名
参 加 費	A・B・C期間 各1,000円 B C期間 2,000円 全期間 2,000円 ※いずれも当日お持ちください
宿 舎	旧大森町詰所
主 催	天理教学生会
後 援	天理教学生担当委員会

＜ お 知 ら せ ＞

- 参加について
申し込みなしの参加は認めません。また、原則として遅刻・早退は認めませんが、やむを得ず遅刻・早退されます参加者は、事前に相談の上、備考欄に記入してください。
※高校生の参加につきましては、保護者の同意書なしでの参加は認めません。後日、発送いたしますので、当日お持ちください。
- 申し込みについて
所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、学生担当委員長の署名・捺印のうえ、学生担当委員会事務局までお持ちください。（郵送・FAX可）申し込み用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。
- 締切について
申し込み締切は7月6日（金）（FAX可）とします。
申込書をFAXで提出される場合は、FAX送信後に学生担当委員会事務局までご連絡願います。また、FAXで提出される場合は、申込書の原本を郵送もしくは当日お持ちください。
※詳細につきましては7月11日以降に書類を発送いたします。